

中国雲南省，梅里雪山 一人々の祈り，山麓の暮しー

2016年6月25日
スナチャシ
昆明理工大学

仏教・ボン教徒にとってのカワカブ

- ★ 仏教が梅里雪山の周辺に伝わる以前から、ボン教の聖山
- ★ 9つの頭と18本の腕を有するロンツェン・カワカブと呼ばれる鬼神
- ★ 8世紀にチベット仏教ニンマ派の開祖グル・リンポチェがこれを降伏させ、仏教の守護神ネンチン・カワカブとなる

カワカブ信仰圏



扎西尼玛(2015)より引用

外巡礼の歴史ー13世紀から

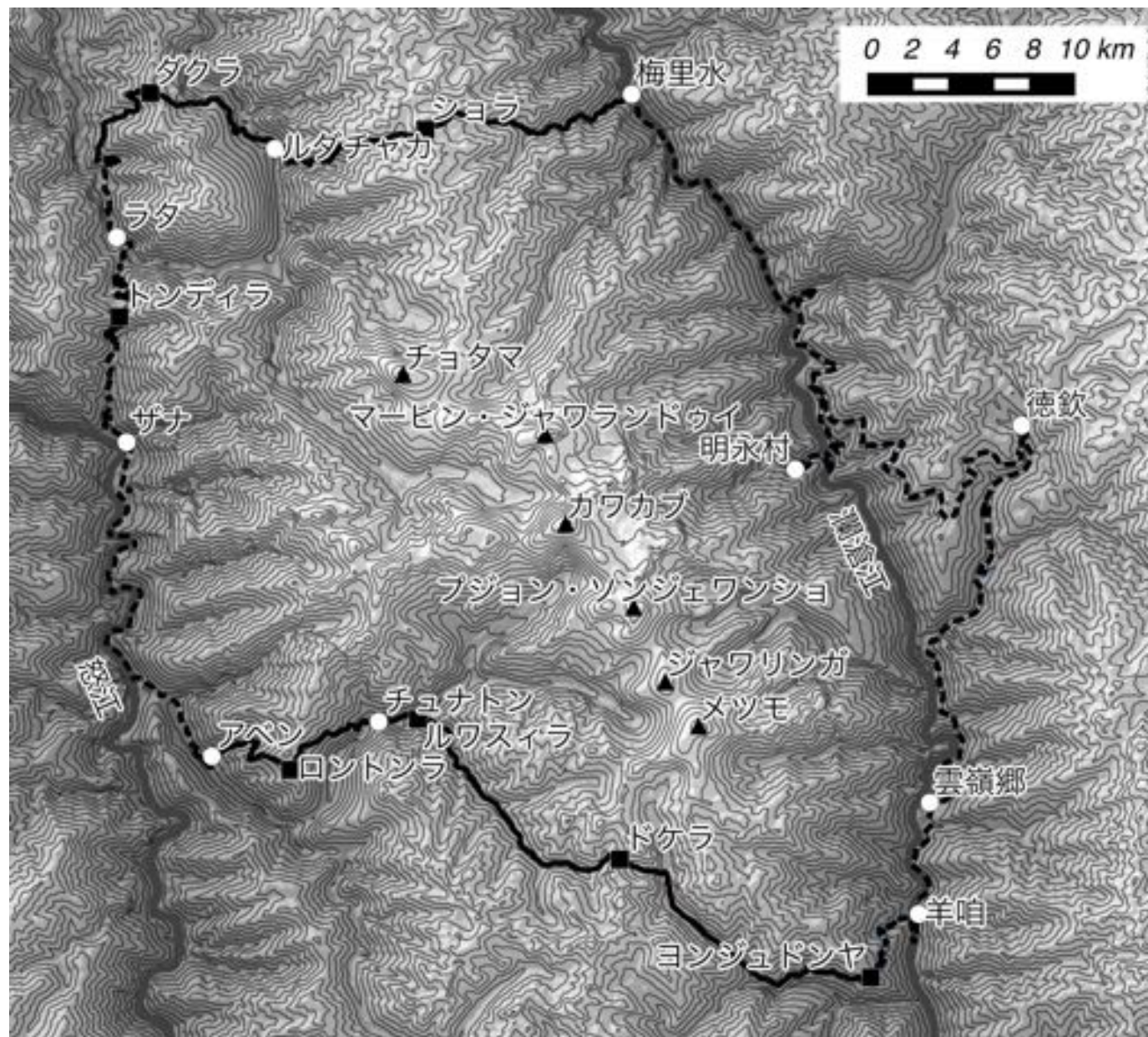


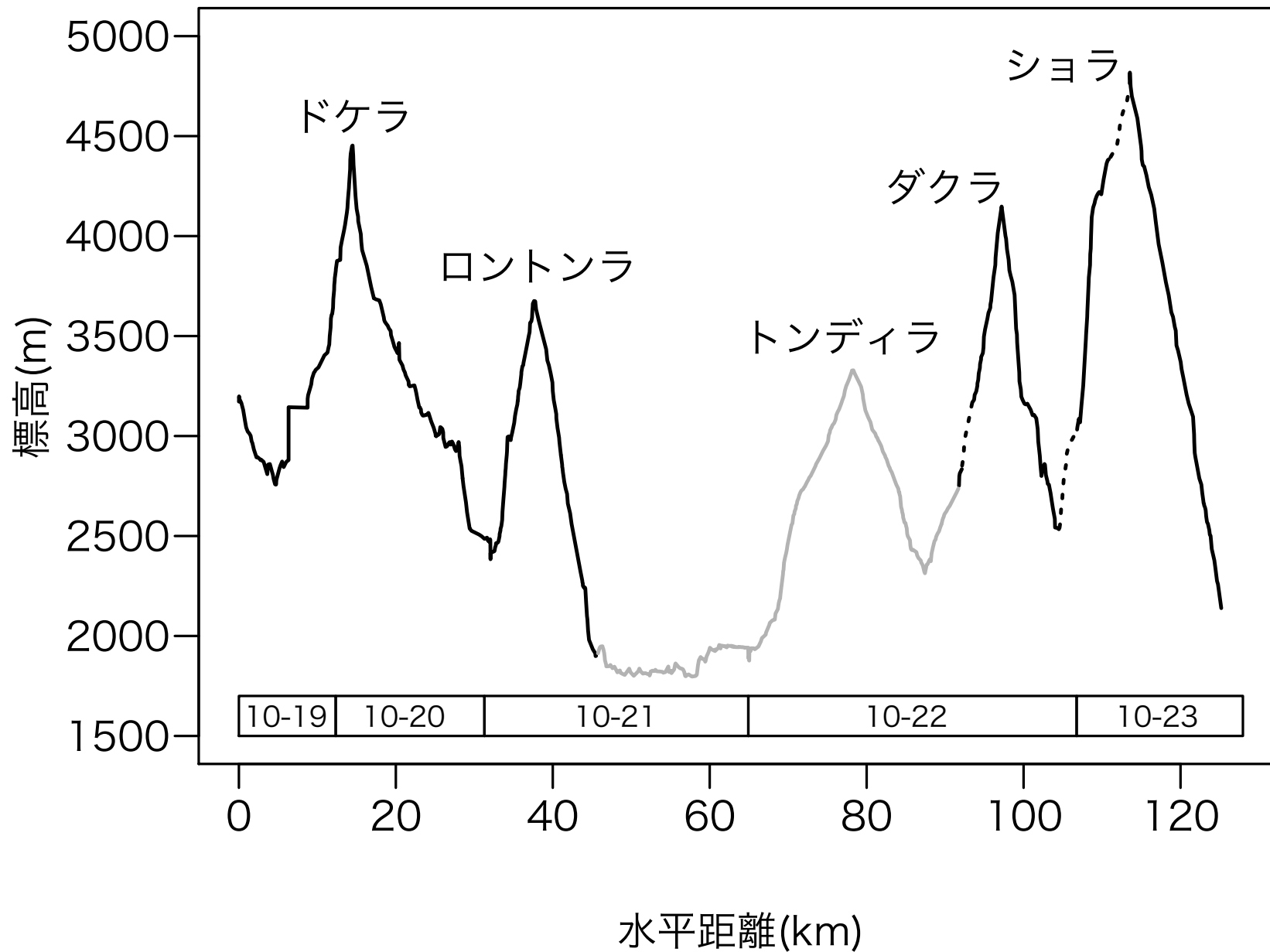
巡礼者@ドケラ付近 (Joseph F. Rock 1930年代)

急速に進むインフラの整備



地形図





徒歩による移動は水平距離で、 **73** kmと全体の約 **3** 割

Day 1



30分も歩けば休憩所がある

Day 2



ルンタが棚引くドケラ (4480m)

Day 2



ルンタが棚引くドケラ (4480m)

Day 2



主に樹林帯を歩く

Day 2



死者の聖地シミラから撮影した梅里雪山

Day 3



ロントンラ手前の展望台から撮影した梅里雪山の背後

Day 3



怒江の現在の風景



道路ができるまでの風景

扎西尼玛(2015)より引用

Day 4



車でトンディラを越える

Day 4



ノントンラからの下り， チョタマとザーイチャが見える

Day 5



モレーン地形の中を歩く

Day 5



最後の峠, シュラ

巡礼のハードルが下がったことの影響？

- ★ 転山を通じて、肉体自体が自然の中で修行を積むことで功德を得ることができると考えられている。
- ★ 伝統的な巡礼路には至る所に聖地があるが、車での巡礼では、これらを基本的に回ることはできない。
- ★ 功德が少なくなると主張するラマもいる。
- ★ ただ、健康上の理由などで徒歩での巡礼が困難な者もいるため、車の利用は全否定できるものではない。

伝統的な巡礼路を通らなくなった事例



謂われのない聖地化一明永村の事例



まとめ

- ★交通網の発展で外巡礼の負担は著しく軽減された。
- ★今後のさらなる開発が、信仰心にどのような影響を与えていくのかは今後も見つめ続けたい。
- ★伝統的な巡礼路上の聖地をゆっくりと回りたい。